

タイトル	2つの機能を持つ檜の引戸を楽しむ買取リノベーション		所有・ 建方形式	持家共同建	講評	画一的になりがちなマンションのインテリアを、木製パネルを用いて、住まい手が使い方をいろいろに変化させる仕組みを提案。アール開口の白壁と桧パネルの縦ラインとが絶妙にマッチ。木製パネルが、暮らしに合わせて雰囲気を変化させる楽しさを提供している。	
設計	ナイス(株)	施工	ナイス(株)	構造			RC造

リフォーム前後の写真



A面：引戸として B面：デザインパネルとして

2 way利用を叶えるために…

✓ 住まい手が付け替えらえる俣飴式

✓ ランダムピッチデザインで 2 wayでも印象が整う工夫

✓ 裏表で違う引手
デザインパネルとして利用する際は取手が表面にでない小口引手の方(B面)を表として利用

A面：引手 B面：小口引手

	突付け (デザインパネル利用)	召し合わせ (引き戸利用)
定尺ピッチ		
ランダムピッチ		

突付けた際は定尺ピッチで規則正しく上品な印象が得られるが、召し合わせた際に重なり部分の定尺が崩れるため、アンバランスな印象になる。

突付けた際も召し合わせた際も不規則なラインが自然に溶け込む。ランダムピッチからカジュアルな印象が得られ、リラックスした雰囲気になる。

※AIの活用により荷物を削除しています。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／社会や地域の課題解決に資する取り組み等、審査基準に適合することを示す具体的内容

本件は、今後のストック活用のキーとして流通量が増す「買取再販」プロジェクトであり、未確定な入居者の多様なライフスタイルへの対応が求められていた。また、木の総合商社である私たちは、日本の森林保全と国産材利活用の促進に向け、内装制限の厳しいRC造マンションでも本物の木を身近に感じられる住空間づくりに取り組んだ。設計の工夫として、洋室を仕切る檜の引戸をリビングの壁面に移動させ、デザインパネルとして鑑賞できる「2Way仕様」を考案。これにより、通常は戸袋に隠れてしまう檜の建具を表に出すことで、美しさを余すことなく楽しめる。建具の設置は「俣飴式」とすることにより、入居者自ら工具なしでパネルの枚数や配置を自由に変えることができ、家具や植物に合わせてレイアウトをアレンジして楽しむことができる。また、引戸とデザインパネルいずれの状態でも視覚的な調和を保つため、ランダムピッチの溝デザインを採用した。社会課題の解決として、既存ストックの有効活用に加え、建具の工夫によるマンション木質化のモデルを提示。入居者様からは「檜の引戸のおかげで、柔らかく落ち着いた雰囲気の中で毎日を過ごせている」とのお声をいただいております、人にも環境にも優しいリノベーションを実現した。

右記に該当する場合は✓ (審査基準参照) ☒ a.ストックの有効活用 / ☐ b.技能者不足への対応 / ☐ c.地域・コミュニティの活性化 / ☒ d.既存流通の活性化等

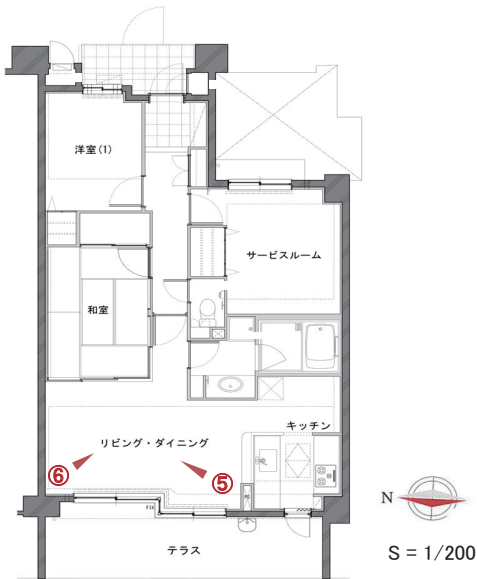
lw値 1s値 リフォーム前 - リフォーム後 - UA値 性能向上等、特に配慮した事項 廃材の抑制のため、既存の断熱材や壁・天井を極力再利用した。更新部位については、国産木材の軸や下地材へと置換した。

所在地 神奈川県川崎市中原区 新築竣工年 2003 年 築後年数 23 年 施工期間 67 日間

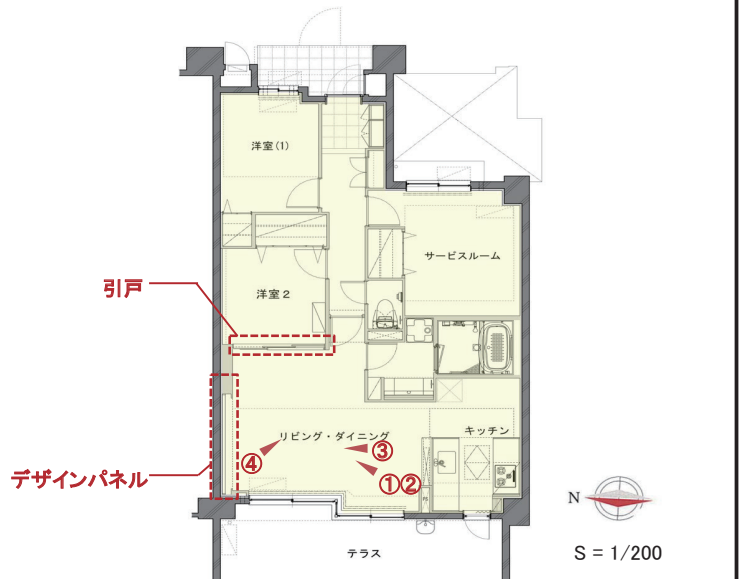
該当工事床面積 75.05 m² / 総工事床面積 75.05 m² 該当部分工事費区分 600～1,000万円未満 / 総工事費区分 600～1,000万円未満

居住者構成 65 歳以上： 人 / 40～64 歳： 1 人 / 15～39 歳： 1 人 / 14 歳以下： 人 / ペット： 1

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位：■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マンション共用部分/ □その他